

LIXIL シンプルアートⅡ アクアコート仕様



取扱い説明書

■アクアコートの特長

- 当社独自の超親水性膜によるクリーニング技術『アクアコート』により、ガラス面に付着した水滴が濡れ広がりやすい状態となり、コーティング面と汚れの間に水滴が入り込み、汚れを浮き上げ洗い流します。

■セルフクリーニング効果について

- 室外側のガラスだけにアクアコート処理をしています。
- アクアコートは清掃不要なガラスではありません。
- 長期間降雨・散水の無い場合や、ひさしや軒などがあり十分な雨水があたらない場合は、クリーニング効果が発揮されません。また、雨が均一にあたらない場合は汚れが残ることがあります。
- 実際の汚れの落ちやすさは、汚れの種類や環境によって異なります。
- 鉄サビなどガラス自体が変質してしまうような汚れについては、クリーニング効果が発揮されません。
- クリーニング効果についての品質保証はありません。

■アクアコート使用上のお願い

- 鳥の糞などの大量の汚れがある場合や、雨が少ない場合は、汚れが落ちるのに時間がかかります。汚れを長期に放置すると固着することがありますので、汚れの程度に応じて早期に清掃することをおすすめします。
- コーティング面は無色透明ですが、見る角度や太陽光線によっては微妙に反射ムラを感じることがあります。
- コーティング面は実用上十分な強度がありますが、カッターナイフなどの硬いもので擦るとキズつくことがありますのでご注意ください。
- ガラス面にシリコンシーリング材を付着させないでください。周辺が撥水状態となり、クリーニング効果が発揮されなくなります。
- タイル・石などの洗浄の際は、ガラス面を十分に養生してください。薬剤（酸・アルカリ・フッ酸など）によってコーティング面が破壊されることがあります。また、養生の際に粘着テープなどを直接ガラス面に張らないでください。クリーニング効果が発揮されなくなることがあります。
- コーティング面に手垢などの油脂が付着するとクリーニング効果が発揮されなくなることがあります。付着させてしまった場合、下記中性洗剤を使用した清掃を実施してください。

■アクアコートのお手入れのしかた

- 日常のお手入れは散水による清掃を実施してください。
- 散水で汚れが落ちない場合は、汚れの程度に応じた清掃が必要です。

	汚れの程度	清掃方法
A	日常のお手入れ	散水
B	落ちにくい汚れの清掃	水拭き
C	特に落ちにくい汚れの清掃	中性洗剤による拭き取り

【A：日常のお手入れ】

- ①散水によりガラス面に付着した砂塵などを十分に洗い流してください。
- ※散水は必ずガラス面の上から下に向かって行ってください。下からの散水は漏水の原因になるおそれがあります。
- ②自然乾燥してください。

【B：落ちにくい汚れの清掃】

- ①Aの①を実施してください。
- ②水を浸した柔らかい布で汚れを落としてください。落ちない汚れがある場合は、Cを実施してください。
- ※固形物質などは軽く押さえて拭きとるようにしてください。
- ③自然乾燥してください。

【C：特に落ちにくい汚れの清掃】

- ①Aの①を実施してください。
- ②中性洗剤の水溶液（できるだけ薄い濃度）を浸した柔らかい布で汚れを落としてください。
- ※固形物質などは軽く押さえて拭きとるようにしてください。
- ③散水して自然乾燥してください。

- 清掃の際は、乾拭きをしないでください。また、コーティング面にキズをつけないように、ガラス面や清掃器具に付着した砂塵や固形物にご注意ください。
- 砥粒を含んだ洗剤や酸・アルカリ度の強い洗剤は使用しないでください。コーティング面のキズやクリーニング効果の低下の原因になります。
- 室内側のガラスはアクアコート処理をしていません。一般のガラスと同様の清掃を実施してください。